（別紙）

令和６年度（2024 年度）　市立札幌病院一括公表

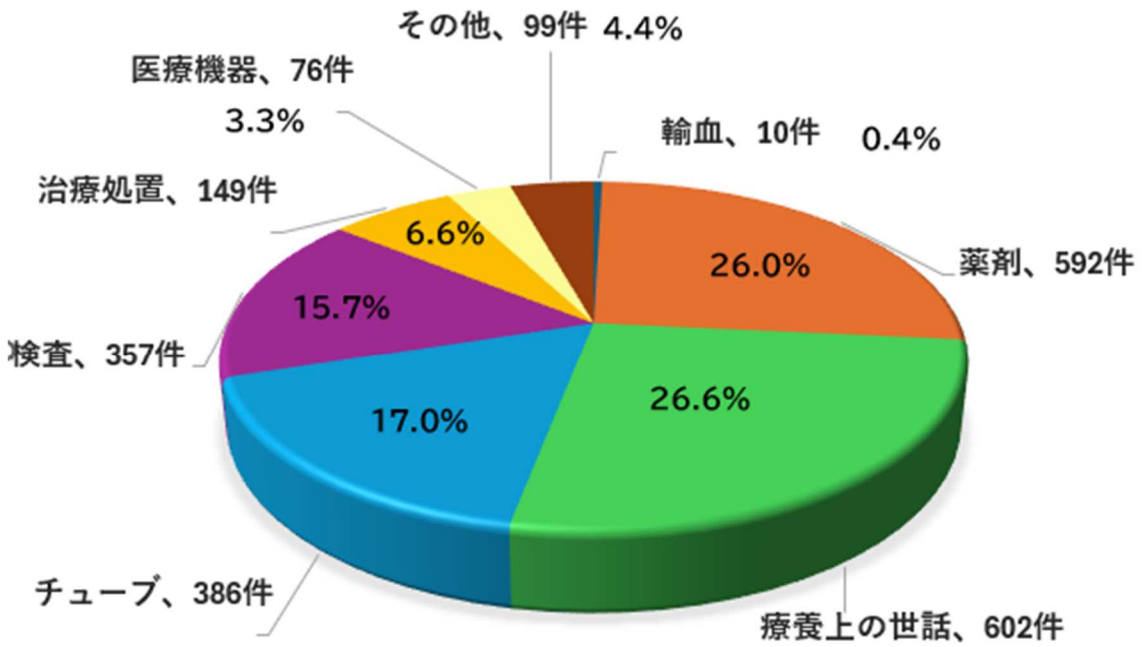
1　インシデント

レベル	件数		説　　明
	5 年度	6 年度	
レベル 0	1,759 件 (47.3%)	2,015 件 (49.6%)	前もって気づいた事例（例：採血管が不足しているのに気がついた等）
レベル 1	1,224 件 (32.9%)	1,283 件 (31.6%)	実害がなかった事例（例：薬の与薬時間が遅れた等）
レベル 2	738 件 (19.8%)	766 件 (18.8%)	確認のための検査は行ったが、処置や治療を行なわなかった事例 （例：転倒で打撲した箇所のレントゲン検査を行った等）
計	3,721 件 (100%)	4,064 件 (100%)	

2　アクシデント

レベル	件数		事例概要　※レベル 3b 以上
	5 年度	6 年度	
レベル 3a	146 件 (89.6%)	207 件 (93.2%)	○簡単な治療や処置を要した事例（例：消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与等）
レベル 3b	15 件 (9.2%)	14 件 (6.3%)	○濃厚な処置や治療を要した事例（バイタルサイン*1 の高度変化、人工呼吸器の装着、入院日数の延長、外来患者の入院、手術等） **（事例の概要：過失なし）** ① 頭部腫瘍手術の際、ドレーン先端部の一部が断裂し遺残した。再手術で遺残したドレーンを抜去した。 ② 僧帽弁置換術*2、三尖弁輪形成術*3、左心耳閉鎖術*4 を施行。術後の経過の中で患者の弁が機械弁に緩衝し再手術となった。 ③ 入院後、病棟デイルームで転倒し、外傷性くも膜下出血*5 となり経過観察となった。 ④ 骨髄穿刺*6 を施行した際、誤穿刺により左大腰筋血種と左第 4 腰動脈近傍の仮性動脈瘤*7 を発症しコイル塞栓術*8 を施行した。 ⑤ 夜間トイレで転倒し、左橈骨遠位端骨折*9、腰椎圧迫骨折し経過観察となった。 ⑥ 夜間トイレで転倒し右尺骨茎状突起骨折*10、右橈骨遠位端骨折で保存的経過観察となった。 ⑦ 日中にトイレに行こうとして転倒し、左大腿骨頸部骨折*11 で左人工骨頭置換術*12 となった。 ⑧ 外来で歩行中に転倒し、左大腿骨転子部骨折、左座骨骨折で骨折観血的手術となった。 ⑨ 経カテーテル大動脈置換術（TAVI）*13 を施行し、カテーテルにより血管内膜の解離*14 が生じてステント術*15 となった。 ⑩ 夜間トイレに行こうと転倒し、右股関節痛みを訴えた。CT 撮影で右大腿部頸部骨折があり骨折観血的手術となった。 ⑪ 内視鏡下による耳鼻科手術後に舌下神経麻痺*16 が生じ経過観察となり、入院が延長となった。 ⑫ 外来待合室を歩行中に転倒し右大腿骨頸部骨折で手術となった。 **（事例の概要：過失あり）** ⑬ 年 1 回の定期受診時に採血した腫瘍検査の異常値を確認されず、1 年後に高値が発覚し治療を要した。 ⑭ CT 検査で胸腰椎に後縦隔*17 病変疑いがあったが精査を行わず、転移性脊髄腫瘍と診断された。 **（主な再発防止の取り組み）** ・検査結果の確実な確認の徹底、結果説明を診療記録（カルテ）に記載する。 ・病院として未読防止に向けたポスター掲示、外来、正面待合いコーナーのデジタル版を活用した患者、家族へ周知する。

レベル	件数		説　　明
	5 年度	6 年度	
レベル 4	1 件 (0.6%)	1 件 (0.5%)	○障害が残った事例 **（事例の概要：過失なし）** ①超低出生体重児（425ｇ）で貧血により右手背から輸血を実施した。終了後に右中指、環指、小指先端の血流不全をきたし右中指と環指の第一関節が壊死により欠落した。
レベル 5	1 件 (0.6%)	0 件 (0.0%)	○死亡となった事例（原疾患の自然経過によるものを除く） なし
計	163 件 (100%)	222 件 (100%)	

*1 バイタルサイン（生命徴候）:脈拍、呼吸、体温、血圧などのこと
*2 僧帽弁置換術：心臓にある僧帽弁の形成ができないときに、僧帽弁を生体弁あるいは機械弁に置き換える手術
*3 三尖弁輪形成術：心臓の右側に位置する三尖弁の閉鎖不全症を治療するための外科手術
*4 左心耳閉鎖術：左心房の中にある「左心耳」という袋状の部分にカテーテルを通して閉鎖する手術
*5 外傷性くも膜下出血：頭部外傷が原因となり、脳を包む膜である“くも膜”の内側に出血が生じること
*6 骨髄穿刺：骨髄に針を刺して骨髄液と細胞を吸引し採取する方法
*7 仮性動脈瘤：大動脈血管壁の内膜、中膜、外膜の 3 層の一部が欠け、そこから血液が漏れた状態
*8 コイル塞栓術：動脈の損傷により一部血液の流れ込む隙間をコイルで満たす治療法
*9 橈骨遠位端骨折：前腕を構成する骨の 1 つである手首の橈骨付近（遠位端）の骨折
*10 尺骨茎状突起骨折：前腕の小指側にある細い骨の下部にある突起部分の骨折
*11 大腿骨頸部骨折：股関節（こかんせつ）部分にある太ももの骨（大腿骨）端の骨折
*12 人工骨頭置換術：大腿骨頚部内側骨折や大腿骨頭壊死などによって損傷した大腿骨頭を切除し、金属でできた人工骨頭に置き換える手術
*13 経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）：カテーテルを用いて大動脈弁を人工弁に取り換える治療のこと。 TAVI は重症の「大動脈弁狭窄症」に対する新しい治療法
*14 血管内膜の解離：動静脈の血管壁は、内膜、中膜、外膜の 3 層からなり、内膜の一部損傷により中膜に血液が流れ込むこと
*15 ステント術：体内の管状の部分を内側から広げるあるいは補強するために、網目状の筒のような金属を留置する治療法
*16 舌下神経麻痺：脳卒中、脳腫瘍、手術による神経損傷などが原因で起こる運動性の麻痺。食べ物をかむ、飲み込みが困難などの症状が出現する。
*17 後縦隔：心臓と肺を除いた左右の肺の間にある空間で、胸腺、心臓、大血管、食道、気管などの重要な臓器

【令和 6 年度　レベル 1～5　インシデント･アクシデント　種類別割合　】